

12月12日(金) 13:30～15:00

企画講座

星祭と開運暦

星祭という行事をご存知でしょうか。星祭とは多くの真言宗や天台宗の密教寺院で節分に行われている行事です。人々の生まれた生年月日を星でなぞらえて、立春から始まる一年の幸福を祈り、災いを除いて過ごせるようお願いする行事です。生まれた年を星でなぞらえるには、開運暦などの暦の九曜星術が用いられています。人々の生活の中で、暦がどのように関わってきたか、暦の中の生活の知恵、暦の基本をお話いただきます。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

竹内 聖明

宗教法人真言宗 世義寺 住職



12月15日(月) 13:30～15:00

企画講座

お木曳のはじまり

来る令和8年5月、いよいよ第63回神宮式年遷宮に向けたお木曳行事が本格的に始まります。実は神宮から命ぜられた夫役としてではない、神領民の自主的奉仕としてのお木曳やお白石持ち行事は、室町中期の寛正3年(1462)に始まったと言われています。まもなく式年遷宮そのものが中断を余儀なくされるような中世後期に、なぜお木曳・お白石持ち行事が始まったのか、その謎についてお話を伺います。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

岡野 友彦

皇學館大学 文学部長

12月19日(金) 13:30～15:00

企画講座

「志士たちの死生観」～高杉晋作・坂本龍馬・西郷隆盛～

「メメント・モリ」という有名な言葉があります。ラテン語で「死を忘れるな」という意味で、それは古今東西、人が、いまを「よく生きよう」とすれば、いつも「死」を忘れてはならない、という戒めの言葉です。その点、いまの私たちが、もしも「よく生きよう」と思うのであれば、死と隣り合わせで生きていた幕末の志士たちから、きわめて多くの大切なことを学べるのではないのでしょうか。今回は、有名な高杉晋作、坂本龍馬・西郷隆盛が遺した史料をもとに、三人の死生観についてお話を伺います。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

松浦 光修

皇學館大学 特別教授(神道学 博士)

12月22日(月) 13:30～15:30

体験講座

ヒカゲノカズラを学ぶ ～文化史と正月飾りの製作～

ヒカゲノカズラは、山野に自生するツタ状の多年草です。神話や古典文学にも登場するほか、大嘗祭などの宮中祭祀でも利用され、神道に関わりが深い植物です。正月飾りの縁起物である蓬萊山に昇る龍を象った「掛蓬萊」の材料にもなっています。本講座ではヒカゲノカズラに関わる文化史を学び、後半ではヒカゲノカズラを使い「掛蓬萊」を作ります。正月を迎えるこの時期、「掛蓬萊」を作り、清々しい新年を迎えてみては如何でしょうか。

参加費

会員

4,000円

ビジター

4,500円

(材料代含む)

講師

新田 恵三

皇學館大学 文学部神道学科 助教

募集定員

15名

12月24日(水) 13:30～15:00

体験講座

お正月の花を生けましょう

お正月の花という松竹梅が立派な花器に活けられた姿を想像しますが、今回はそんな堅苦しいものではなく、もっと気軽な生け花です。竹澤先生が青竹の器を用意してください、そこに松や南天などの花材を用いて心粧草を活けます。心粧とは草植物本来の美しさを最大限に生かし、人の心の粧いを表現する新感覚の生け花。自分の気持ちを自然に活けることで、新しい発見ができます。
(花包み・花切り鋏・タオルなどをお持ちください)
※材料準備の都合により、12/17に申込みを締め切ります。

参加費

会員

4,000円

ビジター

4,500円

(花材代含む)

講師

竹澤 幸甫

嵯峨御流 正教授

募集定員

15名

12月27日(土)・1月27日(火)・2月21日(土) 13:30～15:30

体験講座

「拭き漆」を学ぶ

漆は英語で「JAPAN」と呼ばれるほど日本を代表する素材。どんな近代の塗料にも負けない優れた性質と品位のある美を備えています。拭き漆とは生漆(きうるし)を摺り込んで仕上げる伝統的な技法。漆本来の自然色に仕上がリ、防カビ防虫防水効果が生まれ、艶と強度が増します。ご自身で作った漆の生活用具を暮らしに取り入れてみませんか?
※材料準備の都合により、12/5に申込みを締め切ります。

参加費

(3回)

会員

11,100円

ビジター

11,600円

(道具・材料代含む)

講師

林 遼子

ジュエリーアーティスト／FIVETREES 代表

募集定員

10名

1月19日(月) 13:30～15:00

企画講座

「慶安二年内宮・外宮図」を紐解く

今回は阿形さんから提供頂いた「慶安二年内宮・外宮図」の写しを皆さんにご覧いただき、そこに描かれる場面をじっくりと解説したいと思います。作者は出口延佳と共に豊宮崎文庫の創設に貢献した與村弘正です。京都大学名誉教授・金坂清則氏との共同調査によって、実に興味深い歴史の事実が判明しました。この絵図は、紀州藩主・徳川頼宣の命を承った弘正が慶安2年(1649)8月に書写したもので、9月25日と27日に斎行された第44回式年遷宮を意識したものです。知られざる神都の歴史を垣間見ることのできる貴重な絵図ですので、楽しみに聴講してください。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

音羽 悟

神宮司庁 広報室次長／神宮参事

1月22日(木) 13:30～15:30

体験講座

桧について知ろう ～桧の枕を作る～

日本の高級木材である「桧」の特徴や効果などのお話を伺ったあと、桧(良質部)を使用し、桧まぐらの制作を行います。カットした桧の木材を中袋に詰めて、自分好みの高さになるように形を整えながら仕上げていきます。作成中は桧の香りを楽しみながら、その心地よさやリラックス効果を体感しましょう。世界に一つ自分だけのオリジナル桧まぐらを作ってみませんか。
※材料準備の都合により1/15に申込みを締め切ります。

参加費

会員

5,000円

ビジター

5,500円

(材料代含む)

講師

青木 利晃

青木木材店 代表

募集定員

15名

2月10日(火) 13:30～15:00

企画講座

馬の怪異

午年にちなんで馬に関係する怖～いお話。古墳時代の有力者の墓には副葬品として馬型埴輪が見られます。弥生時代にモンゴルから朝鮮半島を経て渡ってきましたが、神様の乗り物、有力者の乗り物、軍事に必要な乗り物として庶民には縁のない貴重な動物でした。一般的になったのは、運搬や農耕などに使われるようになった江戸時代。身近な存在になり、怪しげな怪異譚が生まれました。どんな怪異譚か、西山先生から珍しい恐ろしい話が聞けますよ。

参加費

会員

1,300円

ビジター

1,800円

講師

西山 克

京都教育大学 名誉教授

2月12日(木) 13:30～15:00

企画講座

式年遷宮の意義と歴史 ～お木曳の前にして～

神祇りの最も古い形は神が降臨される常盤木を立て「神籬」「祠」とよぶ祭場を設けてお祭りしました。宮殿へと変わったのは、天武天皇が式年遷宮を発願され、持統天皇4年(690)に第1回が行われた時からと伝わります。その後、紆余曲折はあったものの今日まで1300年も続いていることは驚異的です。実は、式年遷宮には神領民が深く関わっていました。お木曳行事は500年前から続いているのです。式年遷宮が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財」に選定されているのも頷けます。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

千種 清美

文筆家／皇學館大学 非常勤講師

2月17日(火) 13:30～15:00

企画講座

長野義言と井伊直弼②～義言の著作から読み解く二人の関係～

江戸時代後期の国学者・長野義言(1815～1862)は、井伊直弼の側近として、また、安政の大獄の端緒を作った人物として知られています。長野義言と井伊直弼は「主従」関係だけではなく、国学を通して、直弼は義言のことを「わが師」と称しています。つまり、義言が師匠、直弼が弟子であり、国学においては主従関係とは逆の立場でした。今回の講座では、長野義言の著作『玉の緒末分櫛』から読み取れる、井伊直弼との関係について、ご紹介いただきます。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

浦野 綾子

皇學館大学 佐川記念神道博物館 学芸員・准教授

2月19日(木) 18:30～20:30

体験講座

冬の星見と地下から見上げる天文学

冬の夜空には、四季で随一の賑やかな星空が見られます。さらに今年はふたご座に木星が加わって、豪華な星空になっています。レーザーで星座をたどったり、望遠鏡で木星などを眺めたいと思います。日本が世界に誇るニュートリノ観測が新たな段階に進みつつあります。カミオカンデ、スーパーカミオカンデに続くハイパーカミオカンデの建設です。岐阜県神岡の地下で行われている最先端の研究を現地調査の映像を交えつつお話ししたいと思います。

参加費

会員

1,300円

ビジター

1,800円

(五十鈴茶屋の和菓子付き)

講師

毛利 勝廣

名古屋科学館 天文担当課長・博士(学術)

2月20日(金) 13:30～15:00

企画講座

日本各地の伊勢信仰

伊勢信仰が浸透したのは御師の活躍があります。11世紀頃から朝廷の権威が衰え、公領や荘園からの取り立てを行い、下級禰宜たちが全国に派遣されました。その後、武家や豪農などが経済力を握り、潮流に乗った御師たちは伊勢講などの仕組みを作り、江戸時代には伊勢信仰は全人口の9割に上ったそうです。敗戦などもありましたが、昭和の時代までは伊勢神宮への崇敬の念はあちこちに残っていました。山中先生は、主に東日本各地に残る伊勢信仰の足跡に出会われたそうで、いかにお伊勢さんが皆に慕われていたのかの、お話を伺います。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

山中 一孝

豆腐庵山中 代表取締役

2月22日(日) 13:30～15:30

体験講座

ここを知ったらウマくなる ～日本茶・珈琲を楽しむお話～

簡単に楽しめる日本茶・珈琲のドリンクやインスタント製品は、手軽に飲むには便利なアイテムですが、ときには本格的な味わいや香りを茶葉や豆から淹れて楽しみたいですね。今回は、茶葉や豆・淹れ方・そして応用まで、日本茶・珈琲それぞれの分野で長年にわたって築き上げられてきたノウハウについて先生からお話を伺います。実際に試飲しながら楽しく聴いてみませんか?

参加費

会員

2,700円

ビジター

3,200円

(お菓子・お茶代含む)

講師

松本 浩

NPO法人cha茶ちゃ 代表理事

2月24日(火) 13:30～15:00

企画講座

猿田彦大神様と猿田彦神社

～サルタヒコさんってどんな神さま?～

五十鈴塾から歩いて数分の距離にある猿田彦神社。その御祭神は、猿田彦大神と大田命です。猿田彦大神は国津神では唯一「大神」と名乗るほどの偉大な神様です。天孫降臨で神々をみちひらかれ、その後、伊勢国の五十鈴川に來ています。また、大田命は猿田彦大神の子孫で、内宮御鎮座に深く関わった神様です。その末裔である宇治土公(うじのつちぎみ/うじとこ)家が宮司を務める猿田彦神社と御祭神について、お話をさせていただきます。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

横山 昌佳

猿田彦神社 権禰宜

2月25日(水) 13:30～15:30

体験講座

春のスワッグを作ろう

身近な季節の花材で壁に飾る花飾りを「スワッグ」と言います。今回は春を告げる「ミモザ」を、日本古来の桧・杉などを加えて、緑と黄色のグラデーションが美しいスワッグを作ります。初めての方でも、先生が丁寧にご指導させていただきます。自分だけのオンリーワンの花飾りを作ってみませんか?
(生花用ハサミと持ち帰り用バッグなどをお持ちください)
※材料準備の都合により2/18に申込みを締め切ります。

参加費

会員

2,900円

ビジター

3,400円

(材料代含む)

募集定員

15名

講師

水井 文子

フラワーデザイン作家/クロリス・フラワーワークス 主宰